

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	6077	(H.24)No.	6077
-----------	------	-----------	------

事務事業名		農業委員会費	
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
農業委員会事務局	農業委員会事務局	秋永 正人	63-7665
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	3	新しい名張農業の振興と農山村の整備
	施策	1	農村環境整備
	小施策	1	魅力ある農業づくり
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	290501
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	農林水産業費	農業委員会費
項	農業費	(小事業名)
目	農業委員会費	農業委員会費

3. 事務事業の概要

事業概要	
農業委員会の適正な事務実施のための業務 ・農地の有効利用の確保、遊休農地の解消、担い手の確保・育成、農地利用の集積等	

めざす効果(事業目的)
農地政策の適性運用を図るため、農業委員会の担うべき役割を果たす。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	・[会議]総会2回、役員会6回、合同部会2回、農政部会2回、農地部会12回 ・農地ハトロール2回延13日実施 ・他研修、関係会議 ・耕作放棄地を利用した実証ほ場での再生実証事業 決算見込額 報酬 7,015千円 旅費 356千円 交際費 11千円 役務費 198千円 需用費 164千円 負担金補助及び交付金 313千円	・[会議]総会1回、役員会6回、合同部会4回、農政部会4回、農地部会12回 ・農地ハトロール実施(24年度は耕作放棄地パトロール事業として実施) ・他研修、関係会議 ・耕作放棄地を利用した実証ほ場での再生実証事業 報酬 5,904千円 旅費 416千円 交際費 15千円 需用費 80千円 役務費 186千円 負担金補助及び交付金 447千円	補助金・交付金	その他 ()	
				平成25年度(計画)	平成26年度(計画)
直接事業費	8,055千円	7,048千円	7,000千円	7,000千円	7,000千円
財源内訳(千円)					
国庫支出金					
県支出金	2,222	2,222			
地方債					
その他(諸収入)	193	183			
一般財源	(0) 5,640	4,643	7,000	7,000	7,000
人工数					
職員	0.70人	0.70人	0.70人	0.70人	0.70人
臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 5,110千円	5,110千円	5,110千円	5,110千円	5,110千円
+ 総事業費	(0千円) 13,165千円	12,158千円	12,110千円	12,110千円	12,110千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24	
活動指標	目標	認定農業者等担い手の育成及び確保人数	人	43	44	46	46	47
	実績			43	46	44	45	
活動指標	目標	担い手への農地の利用集積面積	ha	44	44	44	44	43
	実績			44	44	44	42	
活動指標	目標	耕作放棄地の解消面積 (耕作放棄地の面積34.8haのうち)	ha	1	1	3	3	3
	実績			1	1	2	3	

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
平成23年度から、農業委員の報酬を年俸制から日額制に変更した。結果として報酬の支払い総額は22年度より220万円余り増加した。	地域における農業委員の活動がさらに活性化するよう支援策を講じていく。その結果活動日数が増加し報酬の支払い総額もさらに増加すると推測される。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
農業委員が地域においてさらに活発に安心して活動できるよう、活動内容や報酬支払いについての内規を定める。	三重県農業会議からは、「農業委員の日々の活動について、活動日誌への記載を徹底する」よう啓発を求められている。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢・の場合) (4)はの場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)
継続(現行)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載
法令事務のため

特記事項